

しらふる -Shirafull-

誰もが気軽に立ち寄れる「にぎわい・交流・憩いの場」

「みんなの笑顔がつながる
ほっとスペース」

音楽や工作、料理など趣味の活動から、子育て、健康づくり、カフェ利用など、人生を豊かにするための「みんなのたまり場」として、にぎわいと交流、憩いの場を提供します。

2027年4月
完成(予定)

生きがい づくり

工作や料理、音楽などを学べる講座から絵画や書道、手芸など個人の趣味・娯楽活動まで、多様な学びの機会を提供

子育て 支援

妊娠期から子育て期のサービスをワンストップで受けられるほか、キッズパークや託児機能も備えている子育てスポット

健康 づくり

市民健診や健康教育、健康相談のほか、健康スポットには自身の健康状態を測定できる様々な機器を設置

カフェ ・ フリースペース

屋内には気軽に立ち寄り、ゆっくり過ごせるカフェや交流スペース、屋外にはマルシェやイベント等が開催される広場を設置

キャリア サポート

主に女性を対象とした就労相談窓口や短時間就労プログラムなどのサービスを提供し、仕事と家事・育児の両立を応援

『しらふる』って、どういう意味？

『しらふる』は「白河（しら）」と「フル（満たされる、溢れる）」を組み合わせた愛称です。
市民や訪れる方々の心と体が満たされ、笑顔やつながりが自然に広がっていく。そんな場であってほしいという願いが込められています。

健康づくり

料理教室



カフェ・フリースペース

工作教室



写真はイメージです

市民のみなさんからいただいたご意見



30代 主婦



健診や相談会場、遊び場が一か所にまとまっているので、子育ての間ずっと安心して通え、困ったときに気軽に頼れる場所になってほしいです。



40代 会社員



複合施設にカフェが入るのが楽しみです。こどもたちをキッズパークで遊ばせた後の休憩や、習い事の送迎の合間などに利用してみたいです。

70代 健診受診者



現在の健診会場では雨や混雑している時に待っている所があまりないので、明るく、きれいな施設で、皆がゆとりある健診ができることを期待しています。

40代 移住者



多様な人達が交流できる施設として、移住者にとっても心地よい居場所となることを楽しみにしています！



10代 高校生



学習スペースを使用しながら、カフェが利用できるので、すごく楽しみです。高校生が受けたくなるような講座を開催してほしいです。



70代 公民館利用者



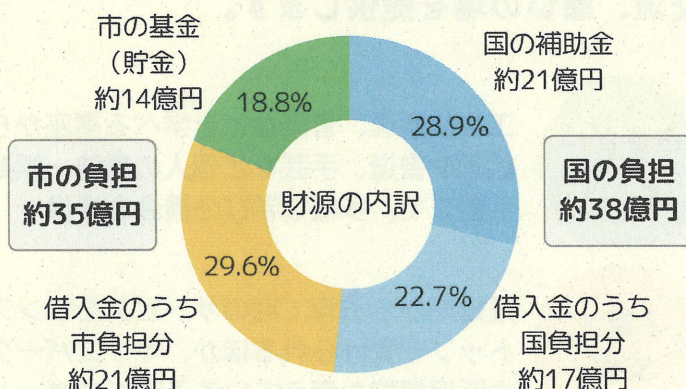
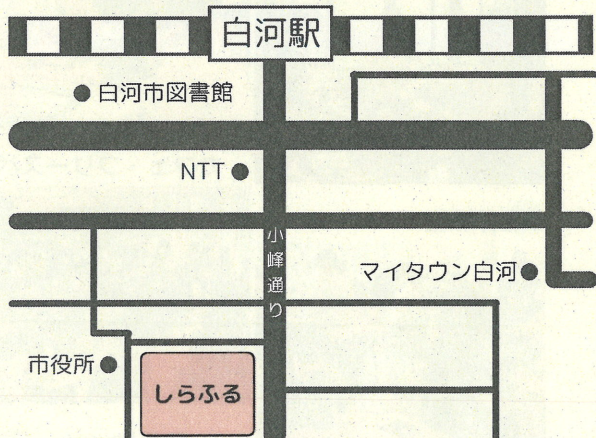
開館まで健康でいられるよう日々運動を続け、しらふるでも活動したいと思います。市民が笑顔で楽しめる施設になることを期待しています。

一方で、建設費用は大丈夫？というご意見も届いています。

建設に係る財源の内訳は、右のグラフのとおりです。市の負担約35億円のうち約14億円は、施設を整備するために積み立ててきた基金（貯金）を活用し、残りの約21億円は、20年間にわたって計画的に返済することで、財政負担の軽減を図ることとしています。今後も健全な財政運営を行い、市民サービスの向上に努めてまいります。

建設事業費

73億2,060万円のうち、
37億7,555万円（51.6%）を国が負担



令和7年度4月現在の事業費に基づくグラフで、複合施設のほか、土木工事、駐車場整備の費用が含まれています。

お問合せ：白河市地域拠点整備室
福島県白河市八幡小路7-1

0248-28-5520

<https://www.city.shirakawa.fukushima.jp>

しらふる 白河市

詳しくは公式サイト・SNSで
最新情報をチェック♪

